

ディーラーマニュアル

SHIMANO
Nexus

インター 8
インター 7
インター 5

目次

ディーラーマニュアル対応モデル一覧	4
重要なお知らせ	5
安全のために	6
使用工具一覧	11
取付け	13
スプロケットのハブへの取付け	13
■ 7段ハブ、5段ハブ	13
■ 8段ハブ	13
カセットジョイントのハブへの取付け	14
■ 7段ハブ	14
■ 8段ハブ、5段ハブ	15
インターMブレーキのハブ本体への取付け	16
ハブのフレームへの取付け	17
ディスクブレーキローターの取付け	20
■ センターロックタイプ	20
■ 5本ボルト留めタイプ (ロックワッシャー付き)	21
レバーの取付け	22
■ モード切替え機能がある場合	22
■ レバーの取付け	23
変速用ケーブルの取付け	24
カセットジョイントへの取付け	24
■ CJ-NX10 / CJ-8S20の場合	24
■ CJ-NX40 / CJ-8S40の場合	28
調整	34
カセットジョイントの調整方法	34
メンテナンス	38
フレームから後車輪を取外す時の変速用ケーブルの外し方	38
■ CJ-NX10 / CJ-8S20の場合	38
■ CJ-NX40 / CJ-8S40の場合	39
インナーケーブルの交換	41
■ レボシフトシフター	41
■ ラピッドファイヤープラスシフター	44

インジケータユニットの交換と組立.....	45
■ 取外し	45
■ 取付け	45
内部一式ユニットのオイルメンテナンス	46

ディーラーマニュアル対応モデル一覧

このディーラーマニュアルは以下のモデルを対象としております。

部品／シリーズ		インター 8	インター 7	インター 5
 内装ハブギア	コースターブレーキ + ディスクブレーキ	SG-C6000-8CD	-	-
	ディスクブレーキ	SG-C6000-8D	-	-
	コースターブレーキ	SG-C6000-8C SG-8C31	SG-C3000-7C SG-7C30	-
	インターMブレーキ	SG-C6010-8R SG-C6000-8R SG-8R31 SG-8R36	SG-C3000-7R SG-7R50	SG-5R30 SG-5R35
	V-BRAKE	SG-C6010-8V SG-C6000-8V SG-8R31-VS SG-8R36-VS	-	SG-5R30-VS SG-5R35-VS
 シフター	ラピッドファイヤープラス シフター	-	SL-7S50	SL-5S50
 シフター	レボシフトシフター	SL-8S31 SL-8S30 SB-8S20-A	SL-7S31 SL-7S30 SB-C3000-7	SL-5S30
カセットジョイント		CJ-8S40 CJ-8S20	CJ-NX40 CJ-NX10	CJ-8S40 CJ-8S20

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル、技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

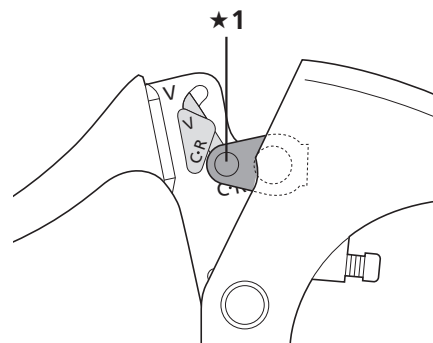
警告

- 製品を取付ける場合は、必ず取扱説明書の指示に従う。
その場合、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

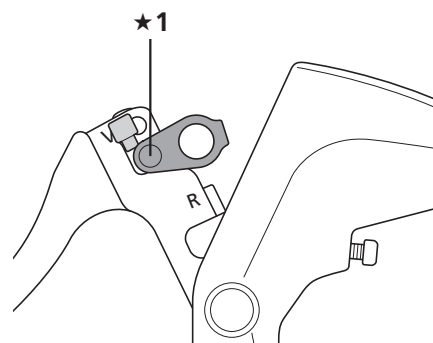
- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあるため、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を十分理解し慣れるようにする。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- モード切り替え付ブレーキレバーは、図の組合わせで使用する。ブレーキレバーには、カンチレバーブレーキ、ローラーブレーキまたはパワーモジュレーター付Vブレーキに対応するモード切り替えが付いています。(SB-8S20-A / SB-C3000-7はローラーブレーキまたはパワーモジュレーター付V-BRAKE に対応しています。カンチレバーブレーキには対応していませんので注意してください。) **このモード選択を誤った場合、極端な効き過ぎや制動力不足を引き起こす可能性があります大変危険です。**
図に従いモード選択を実施してください。

対応ブレーキキャリパー：
カンチレバーブレーキ
ローラーブレーキ



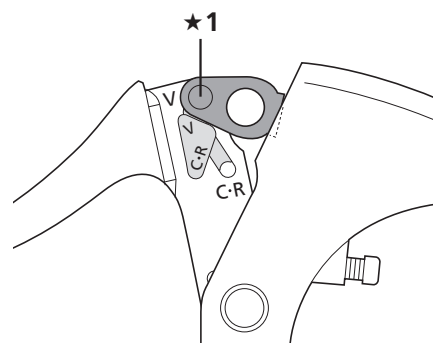
★1 C・Rの位置
C：カンチレバーブレーキ対応モード
R：ローラーブレーキ対応モード

対応ブレーキキャリパー (SB-8S20-A / SB-C3000-7の場合)：
ローラーブレーキ



★1 Rの位置
R：ローラーブレーキ対応モード

対応ブレーキキャリパー：
パワーモジュレーター付V-BRAKE



★1 Vの位置
V：パワーモジュレーター付Vブレーキ対応モード

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。

自転車への組付け、整備に関する事項

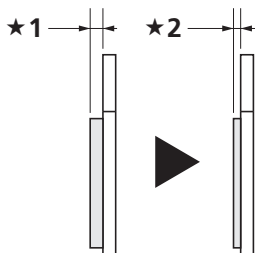
- ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンステーのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付けトルクでしっかりと締付ける。
クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用する。クリップボルト、クリップナットおよびアームクリップはシマノ製をお勧めします。
ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損したりすると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルが取られたり、車輪がロックしたりして、転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- フレームにハブを取付けるときは、所定の回り止めワッシャーを必ず左右に取付け、ハブナットを規定トルクで確実に締付けて固定する。回り止めワッシャーを片側だけしか取付けなかったり、ハブナットの締付けが不完全であると、回り止めワッシャーが外れてハブ軸が回転し、カセットジョイントが回り、不意にハンドルが変速ケーブルで引っ張られて回るなど、重大事故につながる原因となります。

ディスクブレーキローターに関して

- 回転中のディスクブレーキローターにはふれない。ディスクブレーキローターに指が巻き込まれるなど、重傷を負う可能性があります。



- 乗車中、または下車後すぐにキャリパー、ディスクブレーキローターにふれない。キャリパー、ディスクブレーキローターはブレーキ操作により高温になるため、やけどを負う可能性があります。
- ディスクブレーキローター、ブレーキパッドに油脂が付かないようにする。ディスクブレーキローター、ブレーキパッドに油脂が付いた状態で走行するとブレーキが効かなくなり転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- ブレーキパッドの厚みを確認し、0.5 mm以下の場合は使用しない。ブレーキが効かなくなり転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。



★1 2 mm

★2 0.5 mm

- ディスクブレーキローターに割れ、変形が生じたまま使用しない。ディスクブレーキローターが破損して転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。
- ディスクブレーキローターの厚みが1.5 mm以下の場合は使用しない。アルミ面が出てきた状態でも使用しない。ディスクブレーキローターが破損して転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。

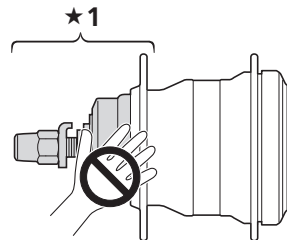
コースターブレーキハブに関して

- 正爪のリアエンドを使用する場合は、チェーンの緩み防止のため、チェーン引きを使用する。

⚠ 注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- シフターは必ず1段ずつ変速操作する。その場合、ペダルの踏力は弱い状態でおこなう。強くペダルを踏んでいるときに、無理やりシフターを操作したり、一気に多段変速したりすると、足がついていかずにペダルから足を踏み外し、転倒事故につながる場合があります。
また、シフターを軽いギアへ一気に変速させるとアウターケーシングがシフターから飛び出す場合があります。変速が終わると元に戻りますので機能への影響はありません。
- ブレーキを頻繁に使用した場合、走行後しばらく（30分位）は、ブレーキ部周辺に手をふれない。ブレーキ部周辺が高温になる場合があります。



★1 ブレーキ部周辺

コースターブレーキ仕様に関して

- 長い下り坂でブレーキを連続してかけ続けない。ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなったりするなどの異常が発生する場合があります。
- 慣らし走行をして、コースターブレーキの制動力の確認をする。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- ペダルを軽く踏みながら変速ができますが、変速した後で確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。
- 内装ハブは完全防水ではありません。ハブが浸水するような場所での使用、高圧洗浄は内部の錆の原因となりますのでお控えください。
- 下記の現象はいずれも内部変速構造によるものであり、内部の故障ではありません。

発生する現象	ハブの 段数	ハブの種類		発生する ギア位置
		コースターブレーキ用	ローラーブレーキ/ V-BRAKE用	
足をペダルに置いて自転車をバックさせると、足にコツコツ感じる。	7段ハブ	×	-	全速
ペダルを回転しているときに音が発生する。	7段ハブ	×	-	全速
		-	×	2, 3, 4, 5, 6, 7速
	8段ハブ	×	-	1速以外の全速
自転車を後ろに押した場合に音が発生する。	8段ハブ	×	×	5, 6, 7, 8速
変速をサポートする機構が内蔵されており、変速時にサポート機構が動いた場合音や振動が発生する。	8段ハブ	×	×	全速
ギアの位置によって変速の感触が違う場合がある。	7段ハブ	×	×	全速
	8段ハブ	×		
	5段ハブ	-		
走行中にペダルの回転を止めると音が発生する。	7段ハブ	×	×	全速
	8段ハブ	×	-	
	5段ハブ	-	×	4, 5速

- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

自転車への組付け、整備に関する事項

- カセットジョイントには、16T ～ 23Tまでのスプロケットをご使用ください。
- フロントのチェーンリングギア比の設定は下記を推奨します。
7段、8段：約2.1
5段：約2.0

例) 26インチの車輪の場合

フロント		36T	38T	46T
リア	7段、8段	16T	18T	22T
	5段	18T	19T	23T

- 製品の性能を維持するために、使用開始から1年ごと（頻繁に乗車する場合は2,000 kmごと）を目安に、オイルメンテナンスを推奨します。厳しい使用条件下で乗車する場合は、より頻繁なメンテナンスが必要になります。また、メンテナンスの場合は、シマノ内装ハブ専用グリスまたはオイルキットを推奨します。専用グリスまたはオイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しないなどのトラブルの原因となる可能性があります。
- スポークは、6本組または8本組で編まれた車輪を使用してください。ラジアル組の車輪は使用できません。スポークや車輪の破損またはブレーキ時に音鳴りの発生するおそれがあります。
- 車輪の回転が重くなった場合は、グリスアップをおこなってください。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギアおよびチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを交換してください。

コースターブレーキ仕様に関して

- 車輪の回転が重くなった場合は、ブレーキシューの交換またはグリスアップをおこなってください。
- ブレーキシューには専用グリスのみを使用し、オイルキット使用の場合には、ブレーキシューを外して、オイルが付かないようにご注意ください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工 具		工 具		工 具	
	2 mm六角レンチ		プラスドライバー[#1]		モンキレンチ
	3 mm六角レンチ		プラスドライバー[#2]		TL-CJ40 (Y70898020)
	5 mm六角レンチ		TL-LR10		
	10 mmスパナ		ヘキサロビュラ[#25]		

取付け

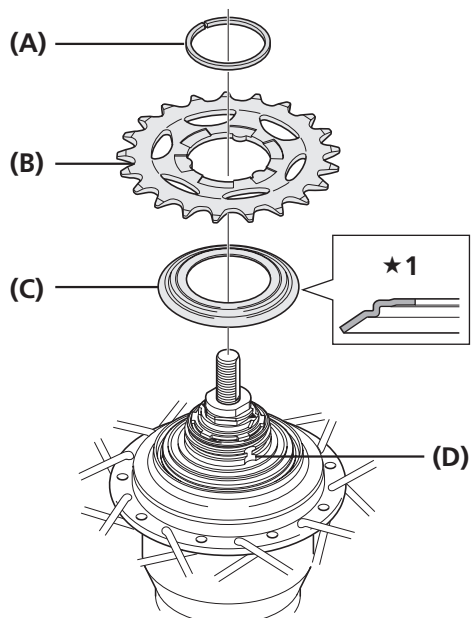
取付け

スプロケットのハブへの取付け

■ 7段ハブ、5段ハブ

1. 右防水キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組み	裏組み
7段	16T-23T	18T-23T
5段	16T-23T	



★1 方向に注意

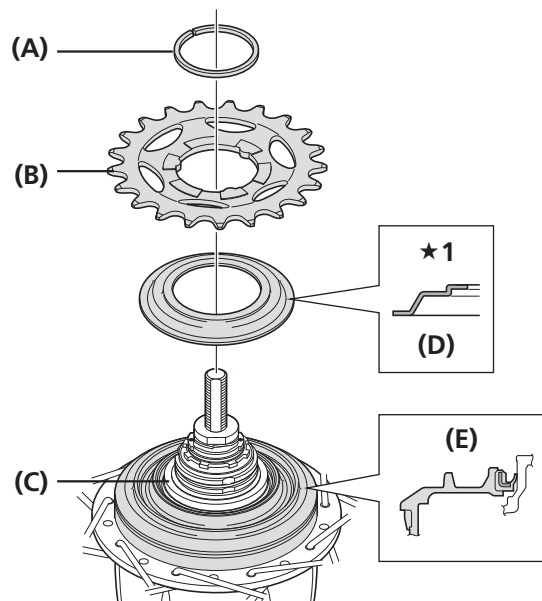
- (A) スナップリング
(B) スプロケット
(C) 7段：右防水キャップC
5段：右防水キャップD
(D) 駆動体

■ 8段ハブ

A仕様の場合

1. 右防水キャップCをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組み	裏組み
A	16T-23T	20T-23T



★1 方向に注意

- (A) スナップリング
(B) スプロケット
(C) 駆動体
(D) 右防水キャップC
(E) 右防水キャップA

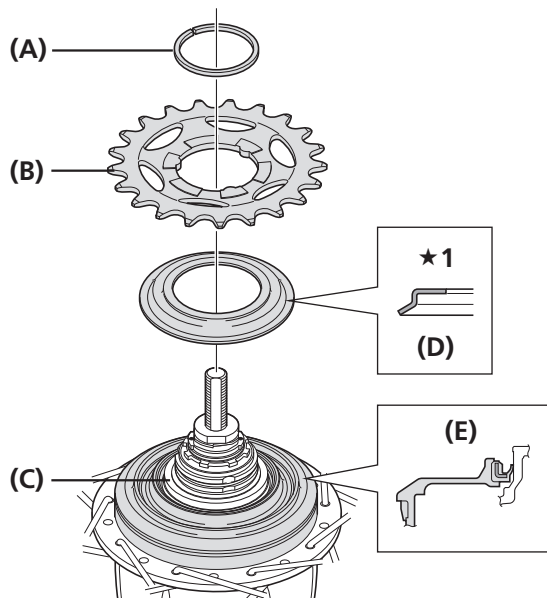
使用上の注意

スプロケットが19T以下で裏組およびベルト仕様の場合は、チェーンまたはプーリーが右防水キャップAと接触しますので、B仕様を使用してください。

B仕様の場合

1. 右防水キャップBをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にスプロケットをセットし、スナップリングで固定します。

仕 様	対応スプロケット	
	表組み	裏組み
B	16T-23T	



★1 方向に注意

- (A) スナップリング
- (B) スプロケット
- (C) 駆動体
- (D) 右防水キャップB
- (E) 右防水キャップA

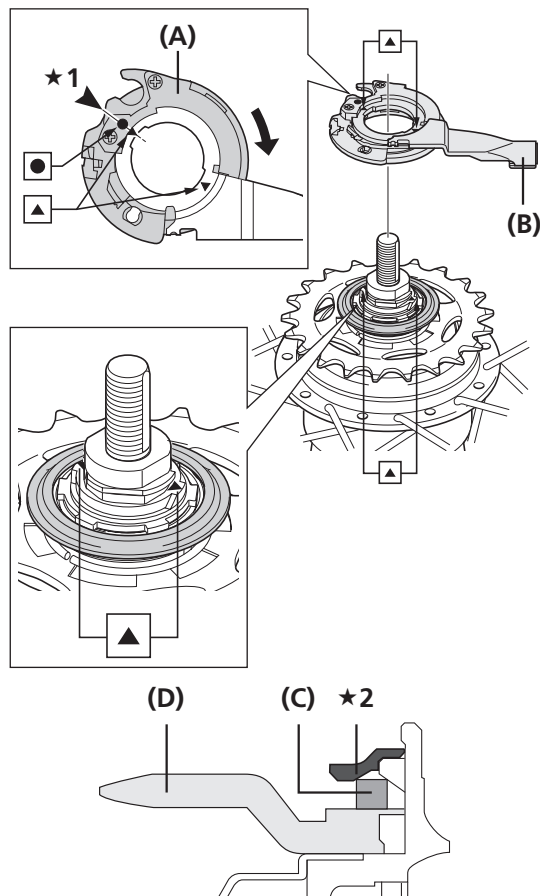
使用上の注意

スプロケットが16T/3 mm歯で裏組およびベルト仕様の場合は、右防水キャップBを外して使用してください。

カセットジョイントのハブへの取付け

■7段ハブ

1. 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。次にカセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、●マーク(黄色)と▲マーク(黄色)を一致させた状態で、カセットジョイントの▲マーク(黄色)をハブ本体右側の▲マーク(黄色)に合わせてセットします。

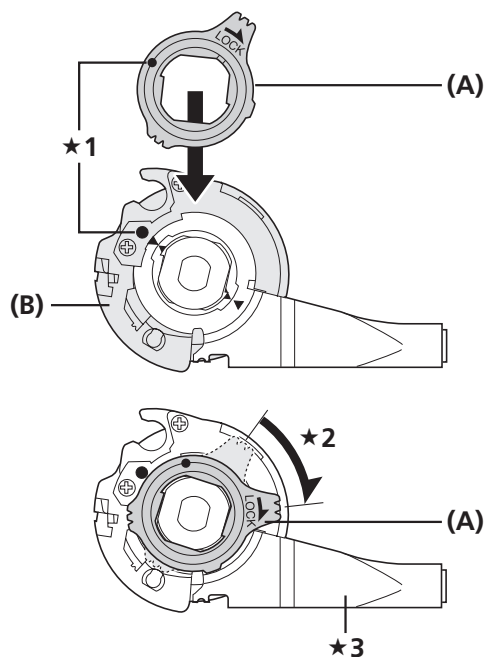


★1 一直線

★2 駆動体キャップは、この位置に取付けます。

- (A) プーリー
- (B) カセットジョイント
- (C) スナップリング
- (D) スプロケット

2. カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを45° 時計方向に回します。



★1 黄色の●マークを合わせて入れる。

★2 45°まわす

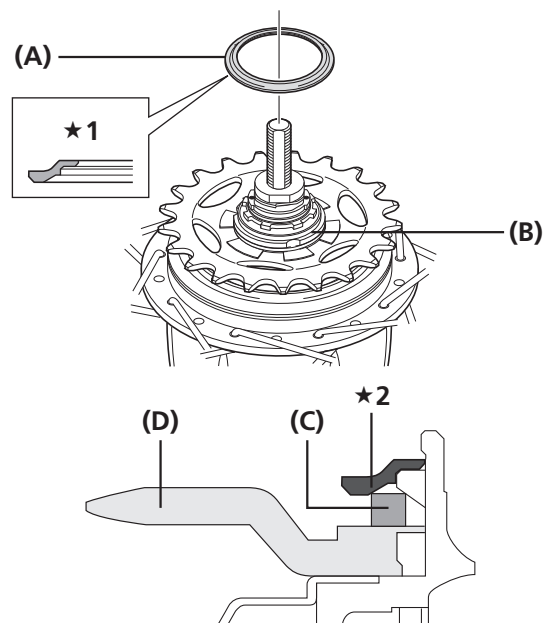
★3 カセットジョイントのブラケットをしっかり押さえ付けます。

(A) カセットジョイント固定リング

(B) プーリー

■ 8段ハブ、5段ハブ

1. 駆動体キャップをハブ本体右側の駆動体に取り付けます。



★1 方向に注意

★2 駆動体キャップは、この位置に取り付けます。

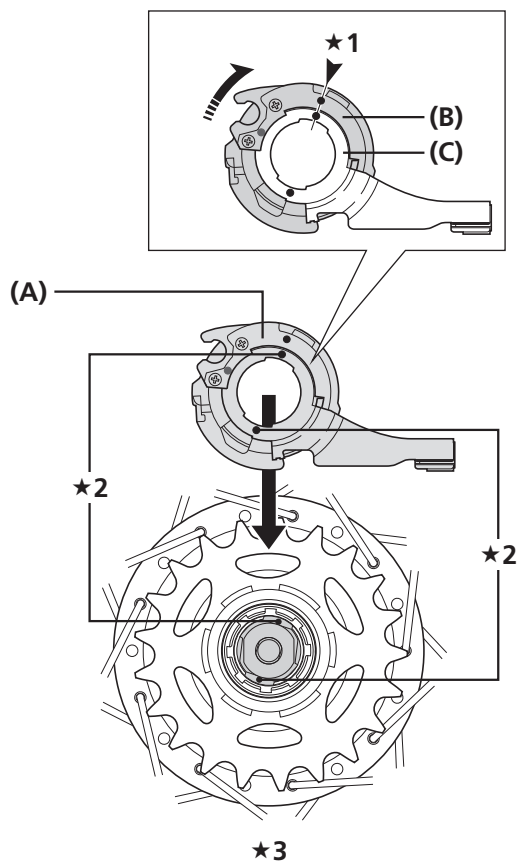
(A) 駆動体キャップ

(B) 駆動体

(C) スナップリング

(D) スプロケット

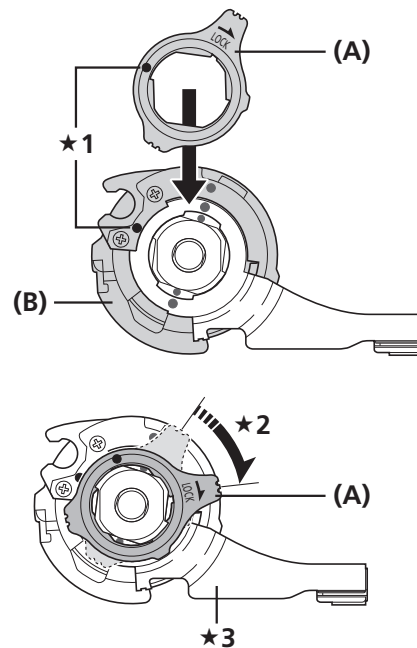
2. カセットジョイントのプーリーを矢印の方向に回し、プーリーとブラケットの●マーク (赤色) を一致させた状態で、カセットジョイントの●マーク (赤色) をハブ本体右側の●マーク (赤色) に合わせてセットします。



- ★1 一直線
★2 赤色の●マークを合わせて入れる。
★3 ハブ本体右側

- (A) カセットジョイント
(B) プーリー
(C) ブラケット

3. カセットジョイント固定リングで、カセットジョイントをハブ本体に固定します。カセットジョイント固定リングの取付けは、黄色の●マークをカセットジョイントのプーリーの黄色の●マークに合わせて入れ、カセットジョイント固定リングを45°時計方向に回します。

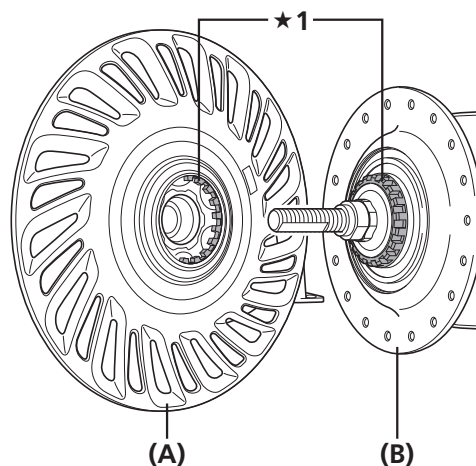


- ★1 黄色の●マークを合わせて入れる。
★2 45°まわす
★3 カセットジョイントのブラケットをしっかり押さえ付けます。

- (A) カセットジョイント固定リング
(B) プーリー

インターMブレーキのハブ本体への取付け

1. ハブ本体のスプラインと、インターMブレーキのスプラインを吻合させ、ブレーキ取付けナットを仮止めします。

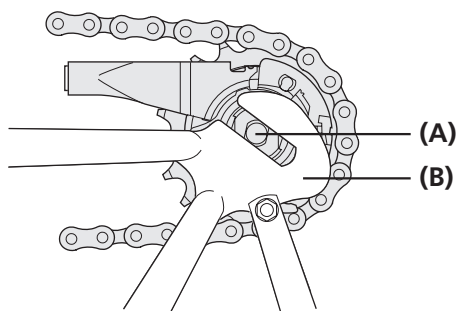


- ★1 スプラインを合わせる

- (A) インターMブレーキ
(B) ハブ本体

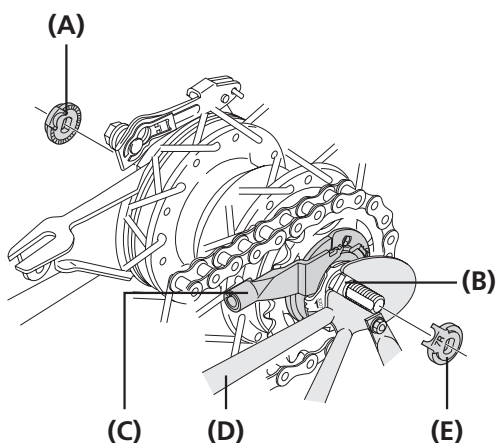
ハブのフレームへの取付け

1. チェーンをスプロケットにかけ、ハブ軸をリアエンドにセットします。



- (A) ハブ軸
(B) リアエンド

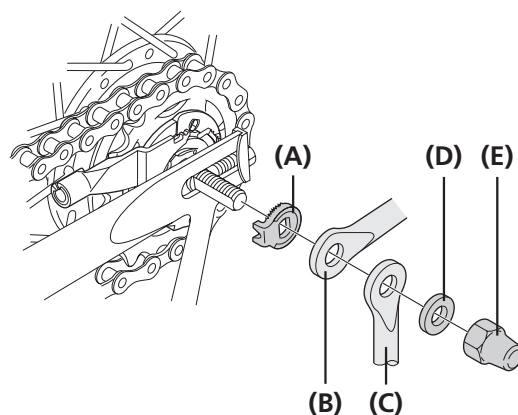
2. ハブ軸の右側と左側に回り止めワッシャーをセットします。このとき、リアエンドの溝に、回り止めワッシャーの突起部が入るように、カセットジョイントを回し、チェーンステアとほぼ平行に取付けます。



- (A) 回り止めワッシャー (左用)
(B) リアエンドの溝
(C) カセットジョイント
(D) チェーンステア
(E) 回り止めワッシャー (右用)

使用上の注意

ハブ軸に泥よけステアなどを取付けるときは、下図の順にセットします。



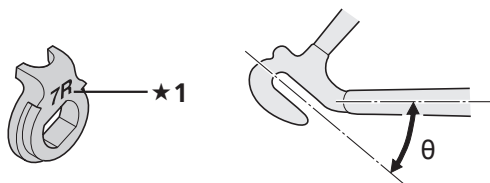
- (A) 回り止めワッシャー
(B) 泥よけステア
(C) キャリアステア
(D) 菊花座金
(E) 袋ナット

TECH TIPS

- 回り止めワッシャーは、リアエンドの形状にあったものをご使用ください。
なお回り止めワッシャーには、それぞれ右用と左用があります。

リアエンド	回り止めワッシャー		
	刻印/カラー		サイズ
	右用	左用	
逆爪	5R/イエロー	5L/ブラウン	$\theta \leq 20^{\circ}$
	7R/ブラック	7L/グレー	$20^{\circ} \leq \theta \leq 38^{\circ}$
	9R/ライトグリーン	9L/ライトブラウン	
正爪	6R/シルバー	6L/ホワイト	$\theta = 0^{\circ}$
正爪 (全ケース)	5R/イエロー	5L/ブラウン	$\theta = 0^{\circ}$
ストレートドロップ	8R/ブルー	8L/グリーン	$\theta = 60^{\circ} - 90^{\circ}$

注意：ストレートドロップ：コースター仕様は除く

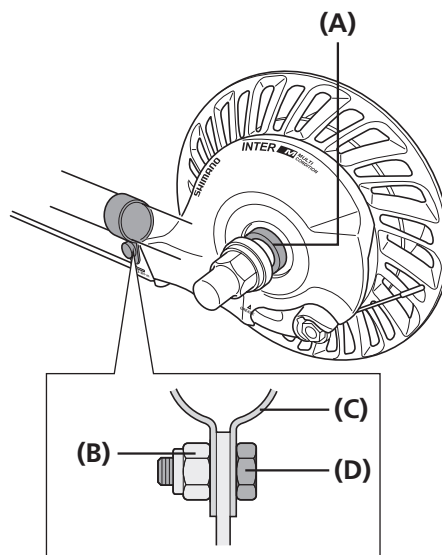


★1 刻印

- 突起部をリアエンド側にセットします。
- 突起部をリアエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。

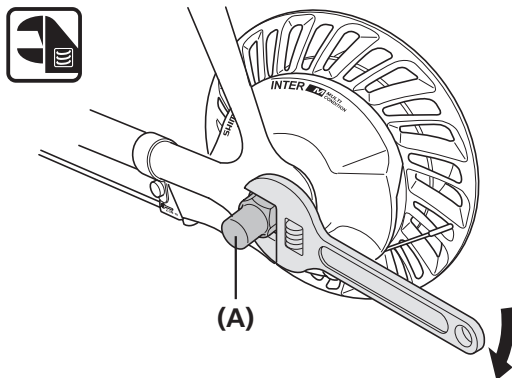
インターMブレーキ仕様の場合

- インターMブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステーに取付けます。
その後、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めします。
- ハブナットが袋ナットの場合は、リアエンドの幅が7mm以上あるフレームをご使用ください。
- ブレーキユニットが、ハブ本体にブレーキ取付ワッシャーで確実に固定されていることを確認してください。



- (A) ブレーキ取付ワッシャー (手で挿入)
- (B) クリップナット
- (C) アームクリップ
- (D) クリップボルト (M6×16 mm)

3. チェーンのたるみを取り、車輪をフレームに袋ナットで確実に固定します。



(A) ハブナット

締付けトルク

モンキレンチ

30 - 45 N・m

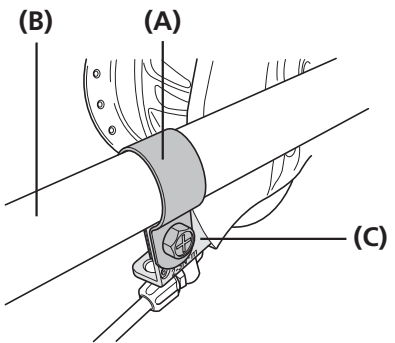
使用上の注意

車輪がフレームに、ハブナットで確実に固定されていることを確認してください。

4. ブレーキアームを、チェーンステーにアームクリップで確実に固定します。

ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステーにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。

- ブレーキアームに無理な力を加えて固定すると、音鳴りがしたり車輪の回転が重くなります。取付けのときは、十分注意してください。



(A) アームクリップ

(B) チェーンステー

(C) ブレーキアーム

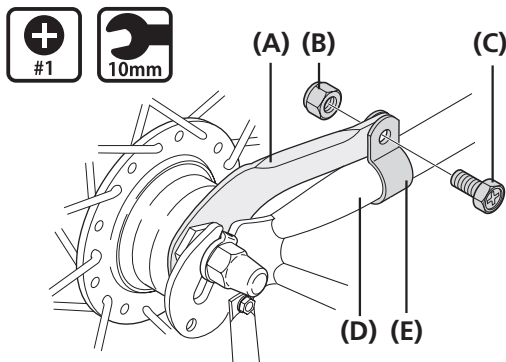
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

10 mmスパナ

2 - 3 N・m

コースターブレーキ仕様の場合



- (A) ブレーキアーム
- (B) クリップナット
- (C) クリップボルト
- (D) チェーンスター
- (E) アームクリップ

締付けトルク

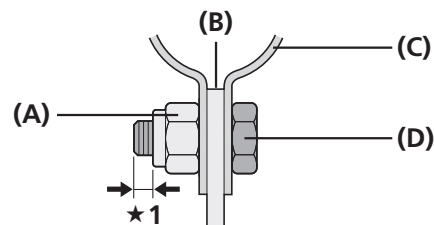
プラスドライバー[#1]
10 mmスパナ
2 - 3 N・m

⚠ 警告

ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンスターのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付けトルクでしっかりと締付ける。クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用する。クリップボルト、クリップナットおよびアームクリップはシマノ製をお勧めします。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルが取られたり、車輪がロックしたりして、転倒や衝突により重傷を負う可能性があります。

使用上の注意

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10 mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。
- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約2 ~ 3 mm出ていることを確認してください。



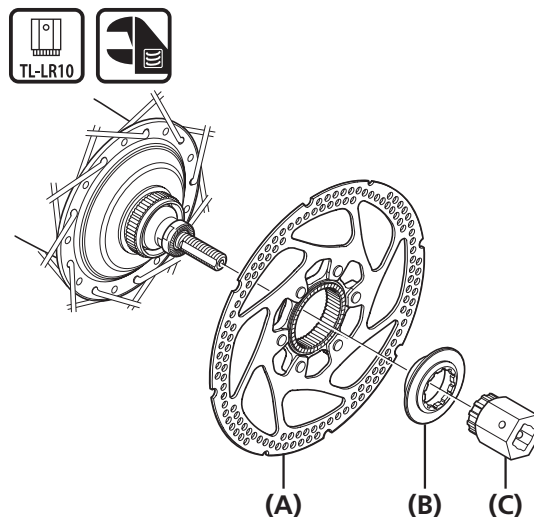
★1 2 ~ 3 mm

- (A) クリップナット
- (B) ブレーキアーム
- (C) アームクリップ
- (D) クリップボルト (M6×16 mm)

- ご使用になる前に、ブレーキの効きおよび車輪がスムーズに回ることを必ず確認してください。

ディスクブレーキローターの取付け

■ センターロックタイプ



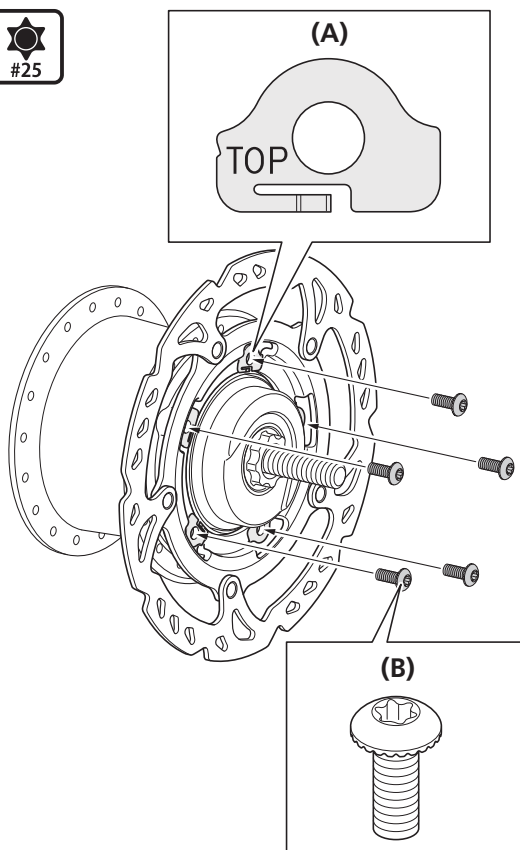
- (A) ディスクブレーキローター
- (B) ディスクブレーキローター取付けロックリング
- (C) TL-LR10

締付けトルク

TL-LR10
モンキレンチ
40 N・m

■ 5本ボルト留めタイプ (ロックワッシャー付き)

1. ディスクブレーキローターとディスクブレーキローター
ロックワッシャーをハブに取付け、ボルトを取付けて締付
けます。



(A) ロックワッシャー

(B) ディスクブレーキローター取付けボルト

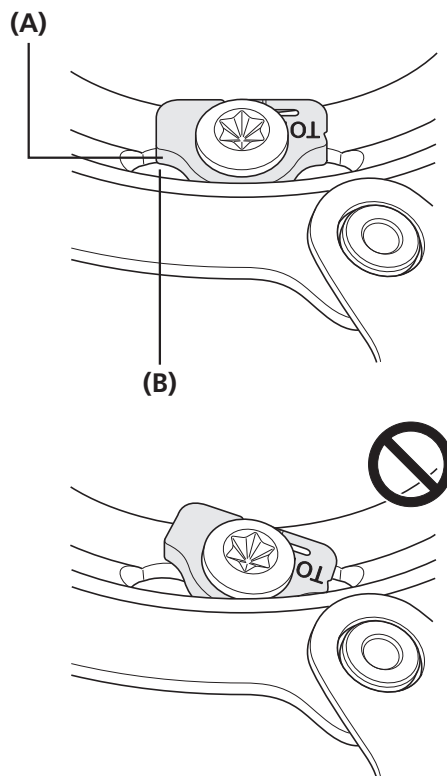
締付けトルク

ヘキサロビュラ[#25]

2 - 4 N・m

使用上の注意

- ロックワッシャーは、「TOP」の文字が見えるように取付け
てください。
- ロックワッシャーの折り部がディスクブレーキローターの
切り欠き部にしっかり掛かっていることを確認し、ディス
クブレーキローター取付けボルトを締付けてください。ディス
クブレーキローターの板面に折り部が乗ったまま締付け
ると、折り部やロックワッシャーの変形の原因となります。

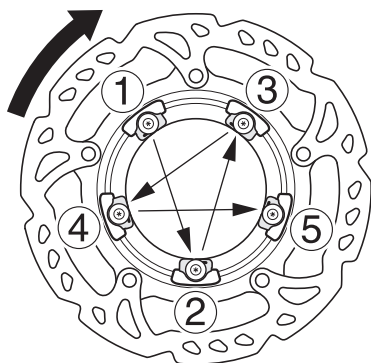


(A) ロックワッシャー折り部

(B) ディスクブレーキローターの切り欠き部

- ロックワッシャーは再利用できません。ディスクブレーキ
ローターを取付ける場合は、新品を使用してください。
- 専用のディスクブレーキローター取付けボルトを使用し
てください。

2. 手袋を着用して、ディスクブレーキローターに力をかけて時計方向に回します。このとき、ディスクブレーキローター取付けボルトを図示の順序で締付けます。



レバーの取付け

■ モード切替え機能がある場合

1. プラスドライバー[#1]を使ってねじを緩めます。



2. モード切替えを取付けるブレーキの位置に合わせます。



TECH TIPS

V-BRAKEの場合



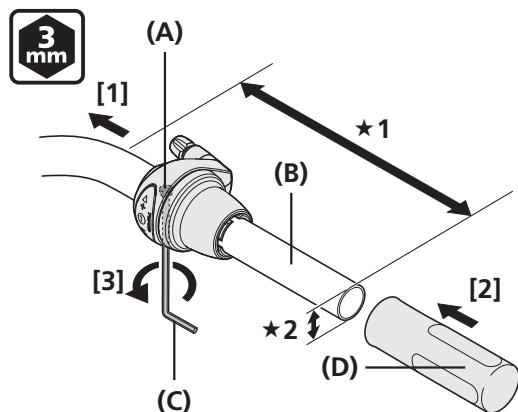
キャリパーブレーキ/カンチレバーブレーキ/
ローラーブレーキの場合



■ レバーの取付け

図のようにレバーをセットします。

レボシフトシフターの場合



★1 166 mm ~

★2 Ø22.2 mm

(A) 取付けボルト

(B) ハンドルバー

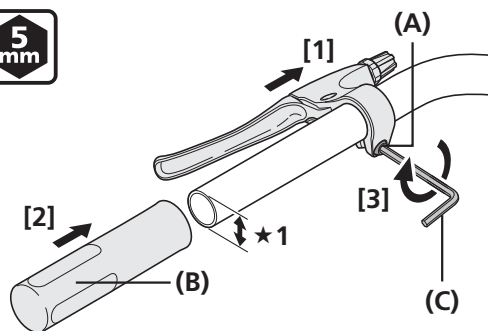
(C) 3 mm六角レンチ

(D) ハーフグリップ

締付けトルク

3 mm六角レンチ

2 - 2.5 N·m



★1 Ø22.2 mm

(A) 取付けボルト

(B) グリップ

(C) 5 mm六角レンチ

締付けトルク

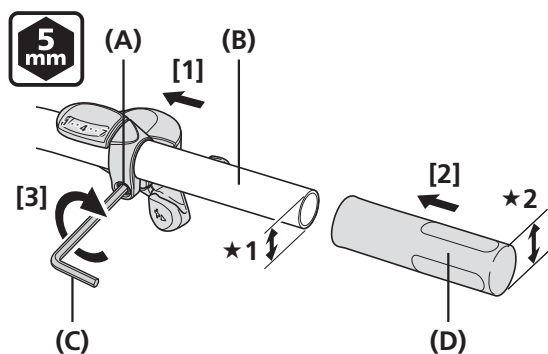
5 mm六角レンチ

6 - 8 N·m

TECH TIPS

- シマノハーフグリップを使用の場合は、ハンドルバーのストレート部が166 mm以上あること。
なお、レボシフトシフターはこのストレート部にセットします。
- レボシフトシフターとハーフグリップの間に、0.5 mmのすき間をあけます。

ラピッドファイヤープラスの場合



★1 Ø22.2 mm

★2 ~ Ø32 mm

- (A) 取付けボルト
- (B) ハンドルバー
- (C) 5 mm六角レンチ
- (D) グリップ

締め付けトルク

5 mm六角レンチ

5 - 7 N・m

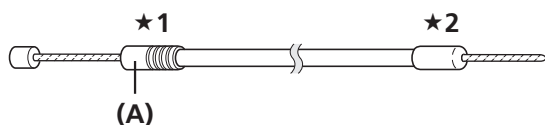
TECH TIPS

ハンドルグリップは最大外径がØ32 mm以下のものをご使用ください。

変速用ケーブルの取付け

インナーケーブルの交換方法はメンテナンスの項目を参照ください。

* 変速用ケーブルは、片エンドケーブルをご使用ください。
片エンドケーブル：OT-SP41



★1 シフター側

★2 カセットジョイント側

- (A) シールドアウターキャップ

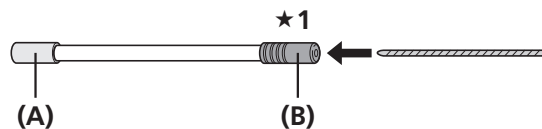
使用上の注意

シフター側に、必ずシールドアウターキャップがくるようにしてください。

カセットジョイントへの取付け

■ CJ-NX10 / CJ-8S20の場合

1. インナーケーブルをOT-SP41アウターケーシングの樹脂キャップ側に通します。



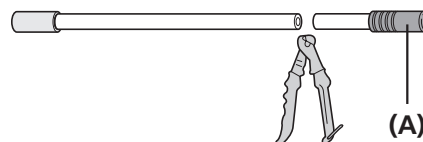
★1 レバー側

- (A) アルミキャップ
- (B) 樹脂キャップ

TECH TIPS

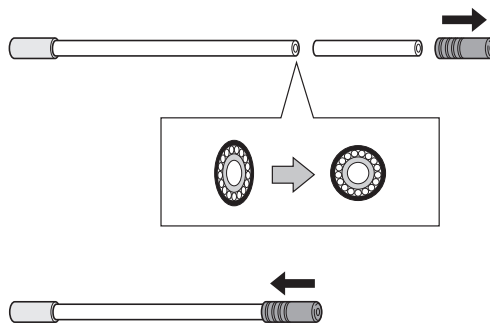
アウターケーシングの切断

もし、アウターケーシングを切断する場合は、樹脂キャップ側をキャップを付けた状態で切断します。

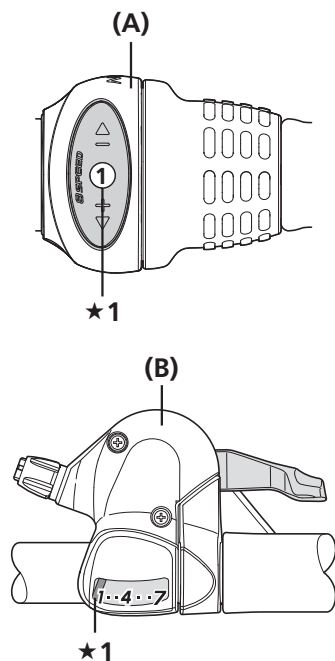


- (A) 樹脂キャップ

その後、切断面を真円に整え、樹脂キャップを取付けます。



2. レボシフトシフター/シフターを1にセットします。



★1 1にセット

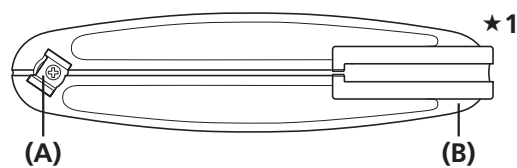
- | | |
|-----|------------------|
| (A) | レボシフトシフター |
| (B) | ラピッドファイヤープラスシフター |

3. アウターケーシングの端が、レボシフトシフター/シフターのケーブル調整ボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー固定ボルトユニットを取付けます。

インナー取付けボルトユニット取付けの場合はセッティングツールTL-CJ40 (Y70898020) をご使用ください。
CJ-NX10、CJ-8S20の場合はTL-CJ40の表側を使用してください。

使用上の注意

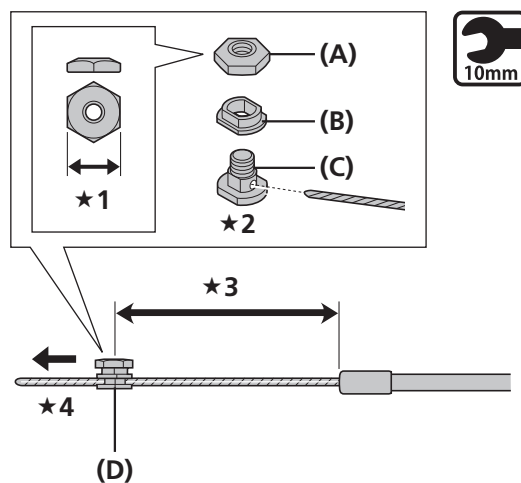
- 工具の出荷状態はCJ-NX10、CJ-8S20用に設定しています。



★1 表面

- | | |
|-----|---------|
| (A) | ナット固定金具 |
| (B) | TL-CJ40 |

- このインナー取付けボルトユニットは、CJ-NX10、CJ-NX40、CJ-8S20、CJ-8S40専用です。11段の取付けボルトユニットは使用できません。



★1 10 mm

★2 インナーケーブルを穴に通す。

★3 101 mm

★4 インナーケーブルを引っ張った状態で固定します。

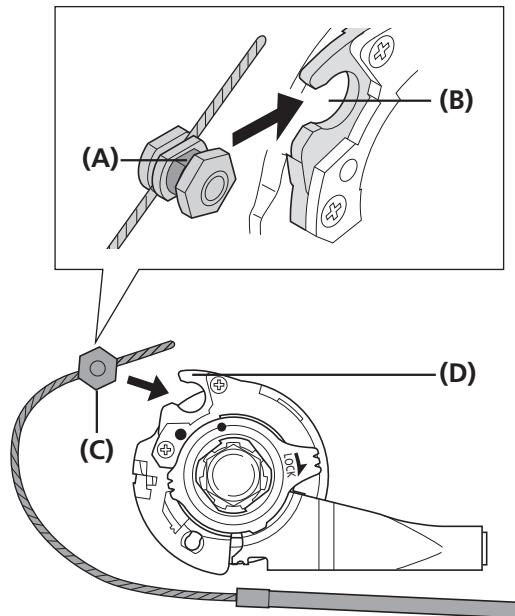
- | | |
|-----|---------------------|
| (A) | インナー固定ナット (黒色) |
| (B) | インナー取付けワッシャー (シルバー) |
| (C) | インナー取付けボルト (シルバー) |
| (D) | インナー取付けボルトユニット |

締付けトルク

10 mmスパナ

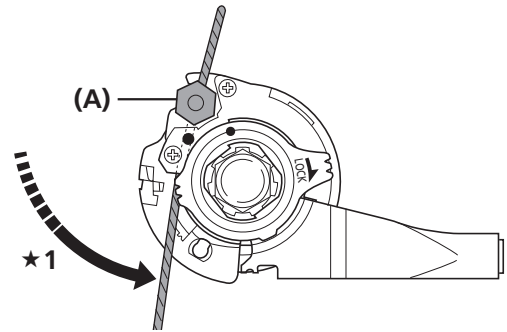
3.5 - 5.5 N・m

4. ケーブルをカセットジョイントのプーリーまで回し、インナー取付けナットを外側（リアエンド側）に向け、プーリーの切り欠き部に、インナー取付けワッシャーの二面幅部を入れます。



- (A) インナー取付けワッシャーの二面幅
(B) プーリーの切り欠き部
(C) インナー取付けナット
(D) プーリー

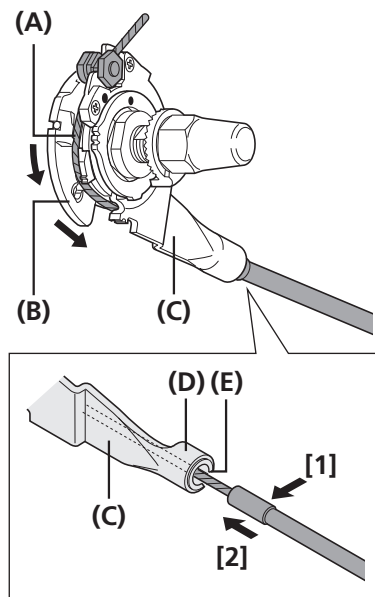
5. ケーブルを反時計方向に60°回して、フック部にセットします。



★1 ケーブルを60°回す

(A) フック部

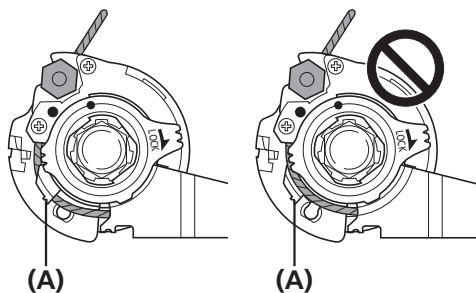
6. インナーケーブルをプーリーに図のようにセットし、カセットジョイントのブラケットのスリットにインナーケーブルを入れ、アウターケーシングをアウター受け部に確実にセットします。



- (A) インナーケーブル
(B) プーリー
(C) ブラケット
(D) アウター受け部
(E) スリット

使用上の注意

インナーケーブルがプーリーのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。

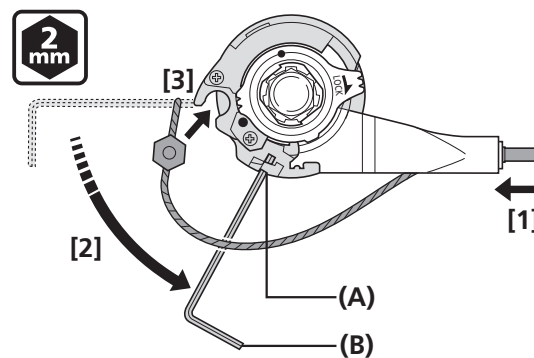


- (A) ガイド部

TECH TIPS

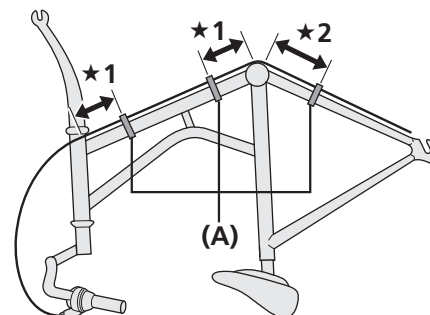
アウターケーシングをアウター受け部に入れたほうがやりやすい場合

アウターケーシングをアウター受け部に入れます[1]。その後プーリーの穴に2 mm六角レンチまたは#14スポークを差し込んでプーリーを回し[2]、インナー取付けボルトユニットをプーリーの切り欠き部に入れます[3]。



- (A) プーリーの穴
(B) 2 mm六角レンチまたは#14スポーク

7. 最後にケーブルをフレームにアウタークリップで固定します。

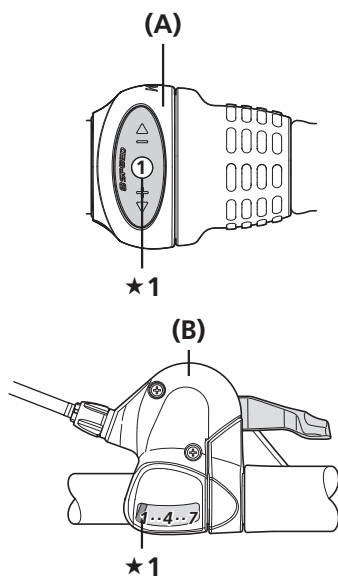


- ★1 10 cm
★2 15 cm

- (A) アウタークリップ

■ CJ-NX40 / CJ-8S40の場合

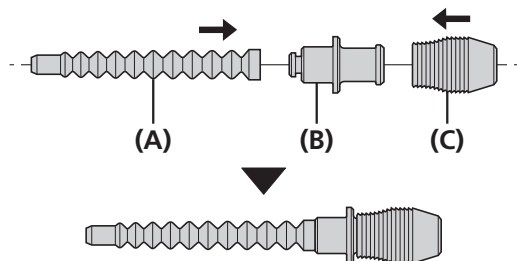
1. レボシフトシフター/シフターを1にセットします。



★1 1にセット

- (A) レボシフトシフター
(B) ラピッドファイヤープラスシフター

2. アウター受け体に、ラバーカバーとラバーベローズを取付けます。



- (A) ラバーベローズ
(B) アウター受け体
(C) ラバーカバー

3. インナーケーブルに付着しているグリスを拭き取ります。

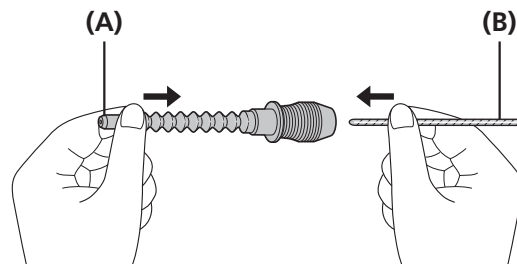
使用上の注意

インナーケーブルの先端に注意

インナーケーブルは新しいものを使用し、先端をカットしたものは使用しないでください。



4. ラバーベローズの先端を持って、インナーケーブルを入れます。

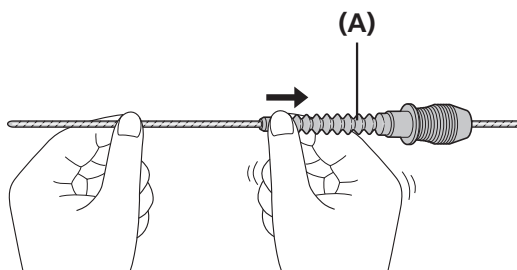


- (A) ラバーベローズの先端
(B) インナーケーブル

使用上の注意

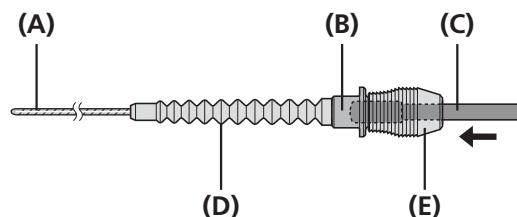
このとき、インナーケーブルの先端で、ラバーベローズを突き破らないように注意してください。

5. ラバーベローズを滑らせてセットします。



- (A) ラバーベローズ

6. アウターケーシングをラバーカバーへ挿入して、アウター受け体にセットします。
アウターケーシングは、アウター受け体の当たりまで確実に押し込んでください。

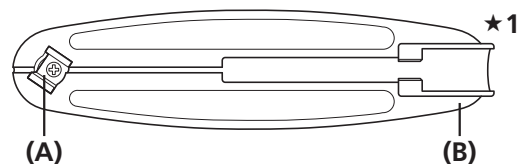


- (A) インナーケーブル
(B) アウター受け体
(C) アウターケーシング
(D) ラバーベローズ
(E) ラバーカバー

7. アウターケーシングの端が、シフターのケーブル調整ボルトに確実に納まっていることを確認した後、インナーケーブルに、インナー取付けボルトユニットを取付けます。インナー取付けボルトユニット取付けの場合はセッティングツールTL-CJ40 (Y70898020) をご使用ください。

使用上の注意

- TL-CJ40の製品出荷状態はCJ-NX10、CJ-8S20で使用する状態になっています。
- CJ-NX40、CJ-8S40の場合はTL-CJ40の裏側を使用します。イラストのとおりナット固定金具を付け替えてください。

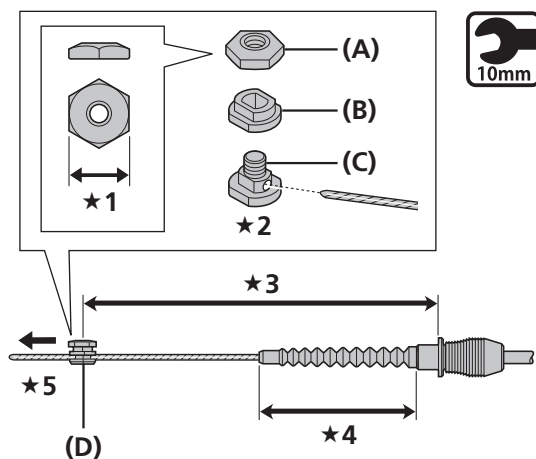


★1 裏面

(A) ナット固定金具

(B) TL-CJ40

- このインナー固定ボルトユニットは、CJ-NX10、CJ-NX40、CJ-8S20、CJ-8S40専用です。11段の取付けボルトユニットは使用できません。



★1 10 mm

★2 インナーケーブルを穴に通す。

★3 127 mm

★4 63 mm以下

★5 インナーケーブルを引っ張った状態で固定します。

(A) インナー固定ナット(黒色)

(B) インナー取付けワッシャー (シルバー)

(C) インナー取付けボルト (シルバー)

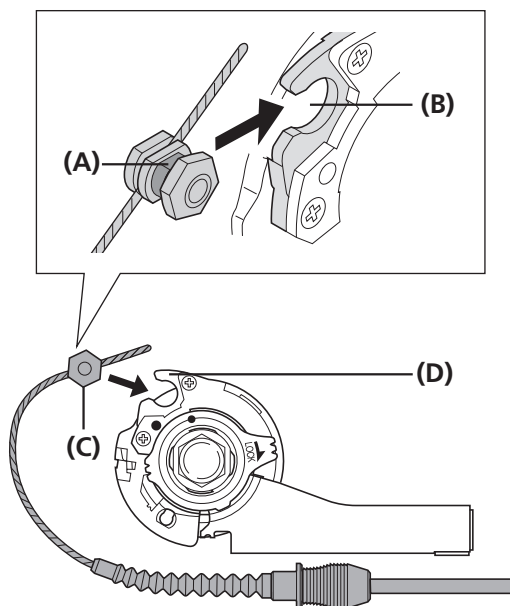
(D) インナー取付けボルトユニット

締め付けトルク

10 mmスパナ

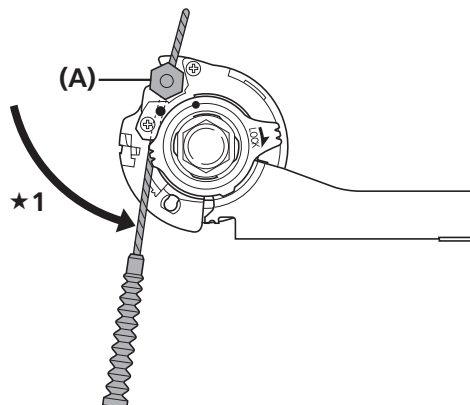
3.5 - 5.5 N・m

8. ケーブルをカセットジョイントのプーリーまで回し、インナー取付けナットを外側（リアエンド側）に向け、プーリーの切り欠き部に、インナー取付けワッシャーの二面幅部を入れます。



- (A) インナー取付けワッシャーの二面幅
(B) プーリーの切り欠き部
(C) インナー取付けナット
(D) プーリー

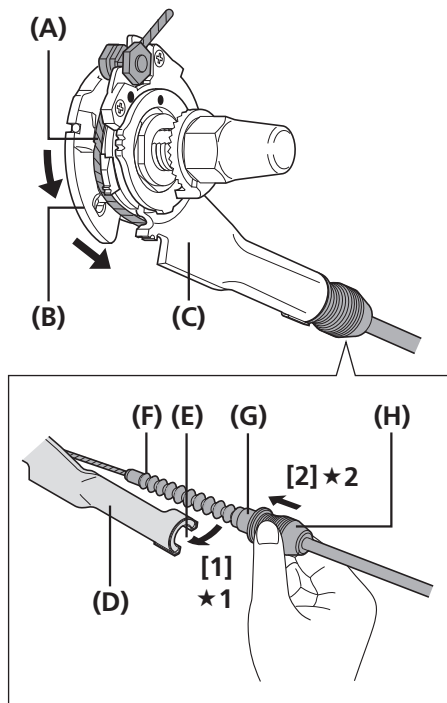
9. ケーブルを反時計方向に60°回して、フック部にセットします。



★1 ケーブルを60°回す

(A) フック部

10. インナーケーブルをプーリーに図のようにセットします。ラバーカバーを持って、カセットジョイントのブラケットのスリットに、インナーケーブルのラバーベローズ部を入れます(図中[1]参照)。次に、アウター受け体をカセットジョイントのアウター受け部に確実にセットします(図中[2]参照)。このとき、ラバーベローズを傷付けないよう注意してください。



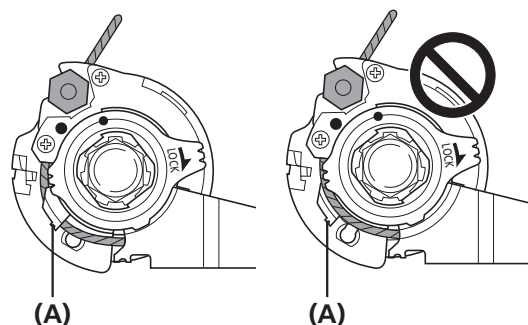
★1 スリットにラバーベローズを入れる

★2 アウター受け体をセットする

- (A) インナーケーブル
- (B) プーリー
- (C) ブラケット
- (D) アウター受け部
- (E) スリット
- (F) ラバーベローズ
- (G) アウター受け体
- (H) ラバーカバー

使用上の注意

インナーケーブルがプーリーのガイド部に正しく納まっていることを確認してください。

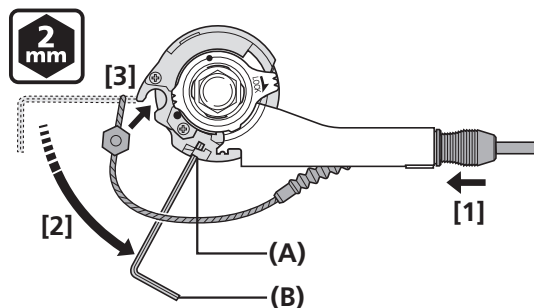


(A) ガイド部

TECH TIPS

アウター受け体をカセットジョイントのアウター受け部に入れたほうがやりやすい場合

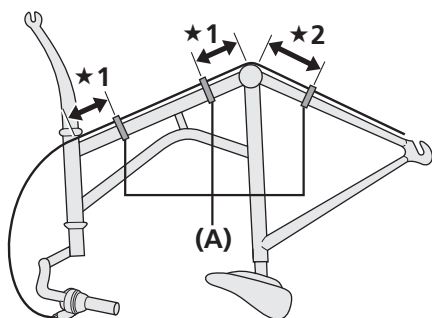
アウター受け体をカセットジョイントのアウター受け部に入れます[1]。その後、プーリーの穴に2 mm六角レンチまたは#14スポークを差込んでプーリーを回し[2]、インナー取付けボルトユニットをプーリーの切り欠き部に入れます[3]。



(A) プーリーの穴

(B) 2 mm六角レンチまたは#14スポーク

11. 最後にケーブルをフレームにアウタークリップで固定します。



★1 10 cm

★2 15 cm

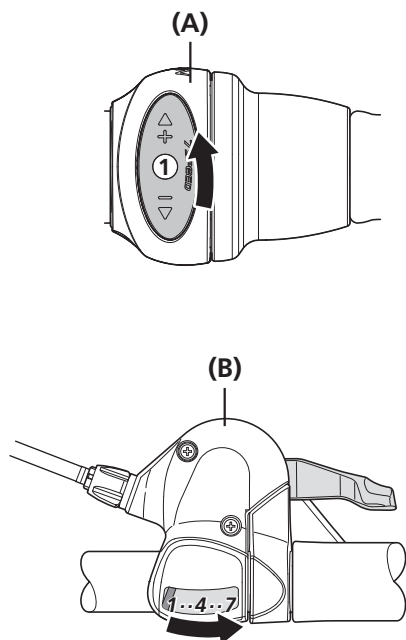
(A) アウタークリップ

調整

調整

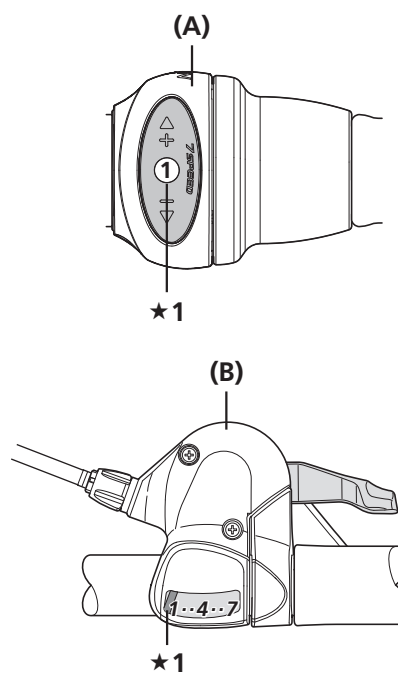
カセットジョイントの調整方法

1. 変速用ケーブルを慣らすために、レボシフトシフター/シフターをロー位置からトップ位置へ変速する操作を数回おこないます。



- (A) レボシフトシフター
(B) ラピッドファイヤープラスシフター

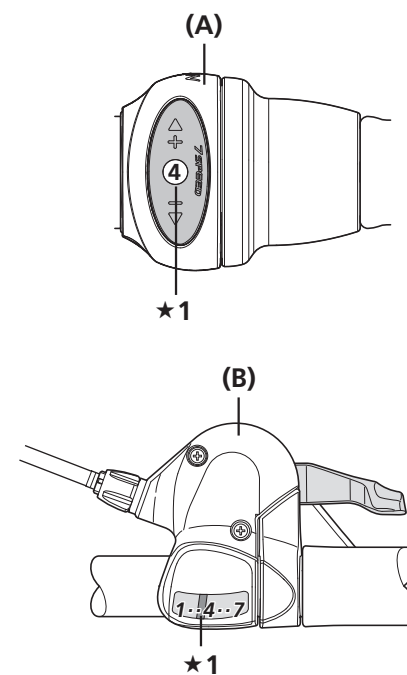
2. レボシフトシフター/シフターを1にセットします。



★1 1にセット

- (A) レボシフトシフター
(B) ラピッドファイヤープラスシフター

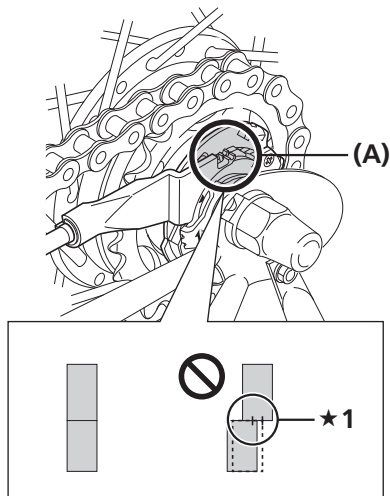
3. レボシフトシフター/シフターを図のようにセットします。



★1 7段/8段ハブ：4にセット
5段ハブ：3にセット

- (A) レボシフトシフター
(B) ラピッドファイヤープラスシフター

4. カセットジョイントのブラケットと、プーリーのセットライン (黄色) が一致していることを確認してください。重なりが2/3以下の場合、ペダル踏み込み時にギアがうまく噛み合わず、異音やペダルが滑るような現象が発生する可能性があります。



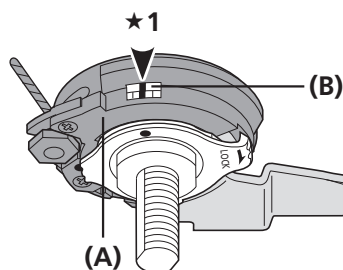
★1 セットラインの重なりが2/3以下

(A) セットライン (黄色)

TECH TIPS

カセットジョイントのセットライン (黄色) は、上部と下部の2ヶ所にあります。見やすいほうをご利用ください。

自転車を正立させたとき

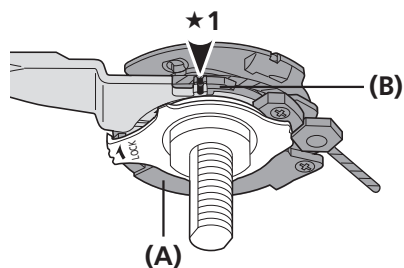


★1 一直線

(A) ブラケット

(B) プーリー

自転車を倒立させたとき



★1 一直線

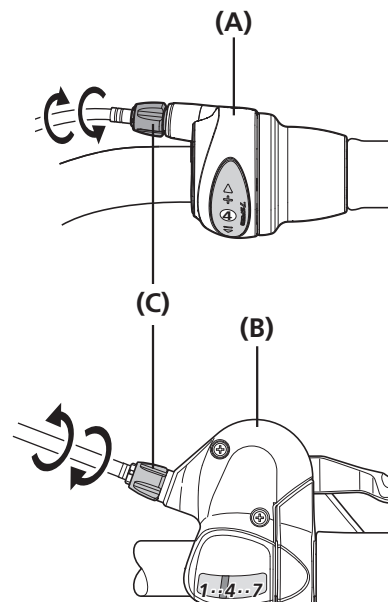
(A) ブラケット

(B) プーリー

TECH TIPS

セットライン (黄色) が一致していない場合

レボシフトシフター/シフターのケーブル調整ボルトを回して、セットラインを合わせてください。その後、レボシフトシフター/シフターをもう一度X→Yへ、そしてY→Xに動かして、セットライン (黄色) が一致していることを再度確認してください。



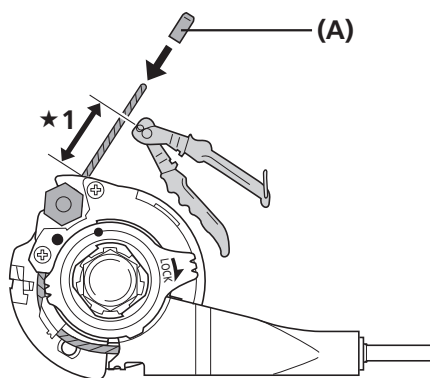
(A) レボシフトシフター

(B) シフター

(C) ケーブル調整ボルト

	X	Y
8 段	4	1
7 段	4	1
5 段	3	1

5. カセットジョイントの調整後、余分なインナーケーブルを切断します。その後、インナーエンドキャップを取付けます。



★1 15 ～ 20 mm

(A) インナーエンドキャップ

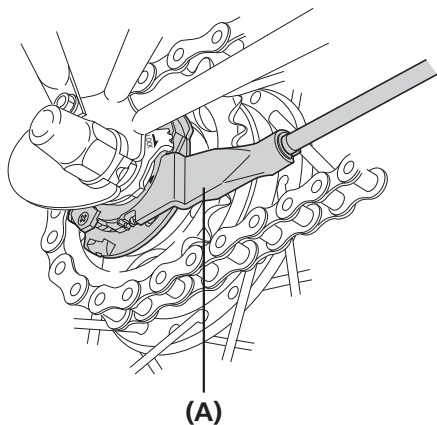
メンテナンス

メンテナンス

フレームから後車輪を取外すときの变速用ケーブルの外し方

■ CJ-NX10 / CJ-8S20の場合

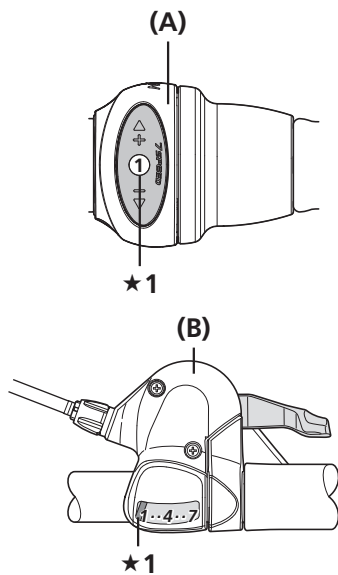
フレームから後車輪を取外すときには、カセットジョイントからケーブルを取外してください。



(A)

(A) カセットジョイント

1. レボシフトシフター/シフターを1にセットします。



(A)

★1

(B)

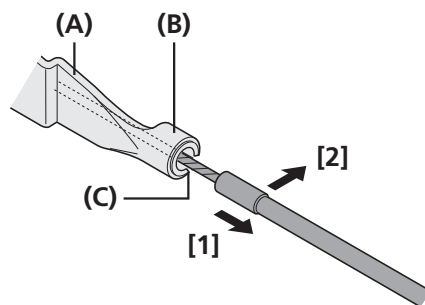
★1

★1 1にセット

(A) レボシフトシフター

(B) ラピッドファイヤープラスシフター

2. カセットジョイントのアウトター受け部からアウトターケーシングを引き抜き、ブラケットのスリットからインナーケーブルを取外します。

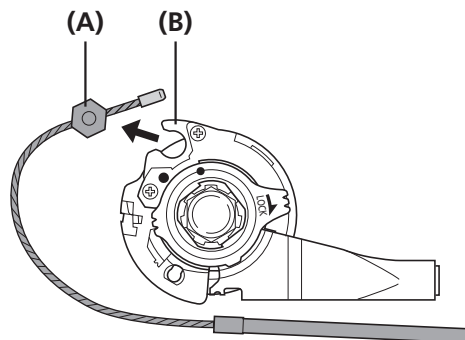


(A) ブラケット

(B) アウター受け部

(C) スリット

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを外します。



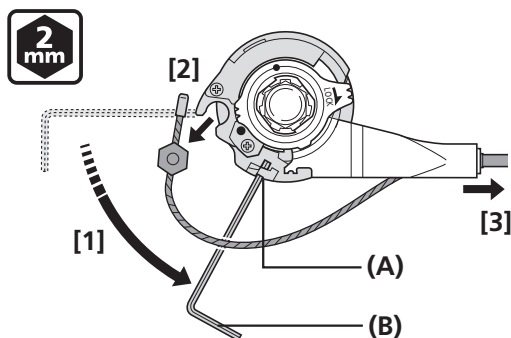
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

TECH TIPS

カセットジョイントの OUTER 受け部から、OUTER ケーシングを引き抜きの場合

カセットジョイントのプーリーの穴に、2 mm 六角レンチまたは #14 スポークを差し込み、プーリーを回してインナーケーブルをたるませます [1]。

先にプーリーからインナー取付けボルトユニットを外し [2]、その後 OUTER 受け部から OUTER ケーシングを引き抜きます [3]。

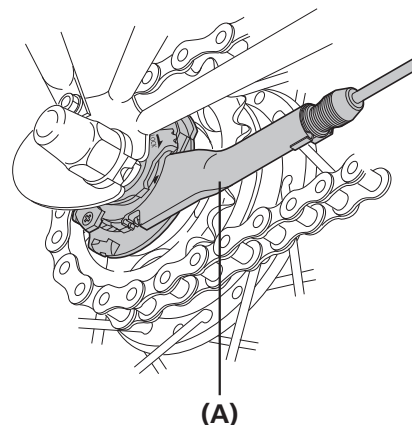


(A) プーリーの穴
(B) 2 mm 六角レンチまたは #14 スポーク

* 再度ケーブルを取付ける場合は、「変速用ケーブルの取付け」の項目を参照してください。

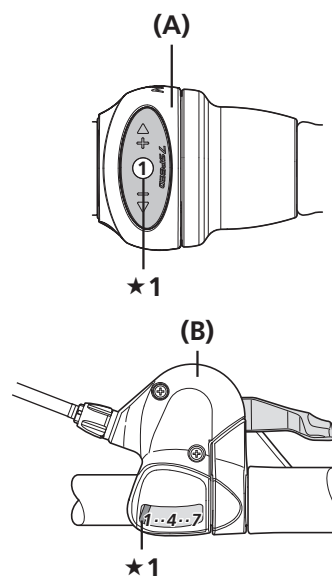
■ CJ-NX40 / CJ-8S40 の場合

フレームから後車輪を外すときには、カセットジョイントからケーブルを外してください。



(A) カセットジョイント

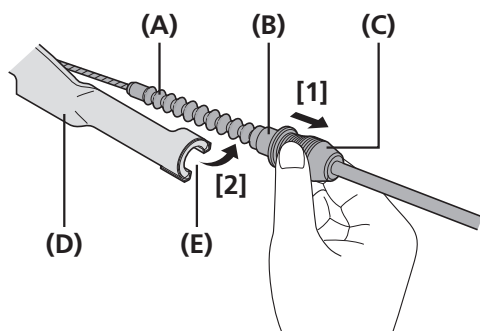
1. レボシフトシフター/シフターを 1 にセットします。



★1 1 にセット

(A) レボシフトシフター
(B) ラピッドファイヤープラスシフター

2. ラバーカバーを持って、カセットジョイントの OUTER 受け部から OUTER 受け体を引き抜きます[1]。
 ブラケットのスリットから、ラバーベローズがセットされている INNER ケーブルを取外します[2]。
 このとき、ラバーベローズを傷つけないよう注意してください。

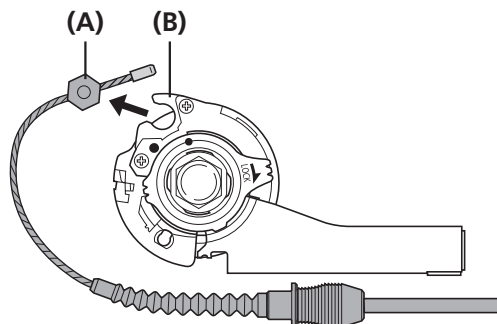


- (A) ラバーベローズ
 (B) OUTER 受け体
 (C) ラバーカバー
 (D) OUTER 受け部
 (E) スリット

使用上の注意

OUTER ケーシングを引っ張って、ケーブルを引き抜かないでください。

3. カセットジョイントのプーリーから、INNER 取付けボルトユニットを取外します。



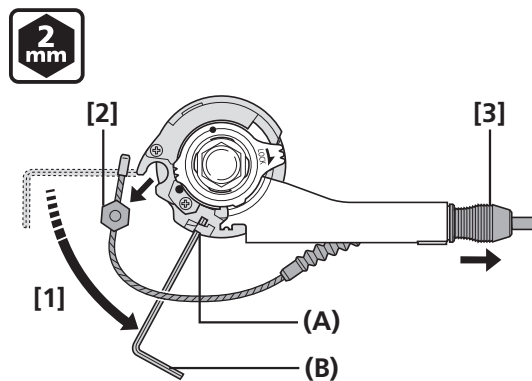
- (A) INNER 取付けボルトユニット
 (B) カセットジョイントのプーリー

TECH TIPS

カセットジョイントの OUTER 受け部から、OUTER 受け体を引き抜きにくい場合

カセットジョイントのプーリーの穴に、2 mm 六角レンチまたは #14 スポークを差し込み、プーリーを回して INNER ケーブルをたるませます[1]。

先にプーリーから INNER 取付けボルトユニットを取外し[2]、その後、OUTER 受け部から OUTER 受け体を引き抜きます[3]。

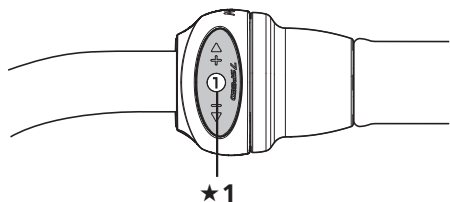


- (A) プーリーの穴
 (B) 2 mm 六角レンチまたは #14 スポーク

インナーケーブルの交換

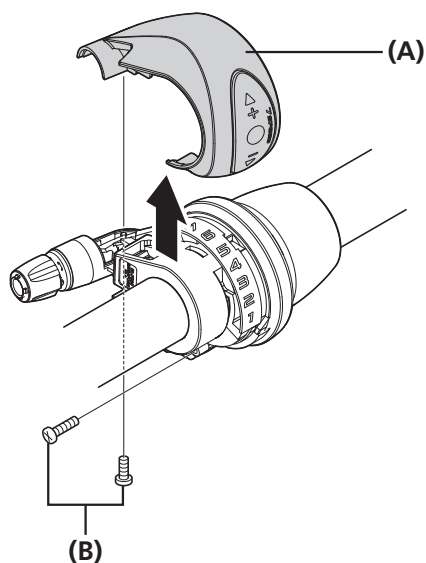
■レボシフトシフター

1. レボシフトシフターを1にセットします。



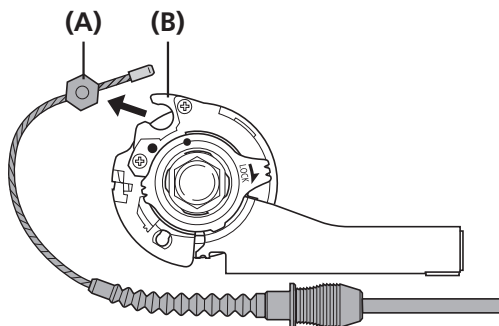
★1 1にセット

2. カバー取付けねじを緩め、カバーを取外します。



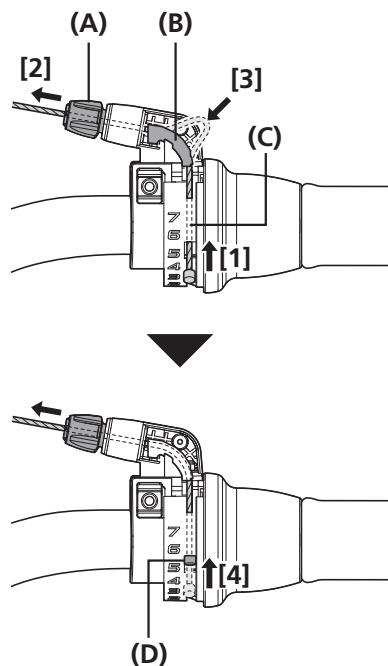
(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



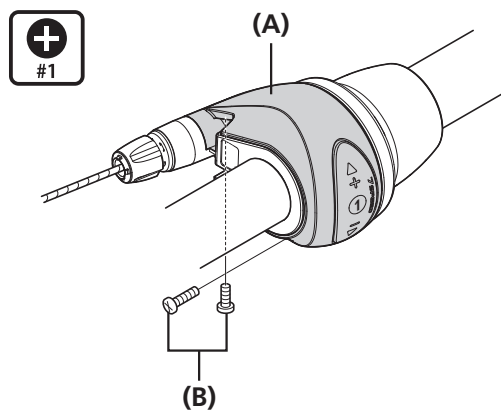
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルを巻取り体の穴から、ケーブル調整ボルトの穴に通します。その後、インナーケーブルをケーブルガイドの溝に沿わせます。次にインナーケーブルを引っ張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) ケーブルガイドの溝
(C) 巻取り体の穴
(D) 巻取り体の凹部

5. カバーをカバー取付けねじで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

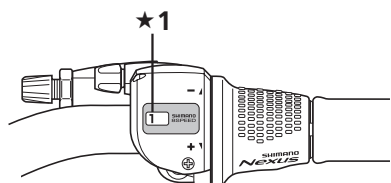
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.1 - 0.2 N·m

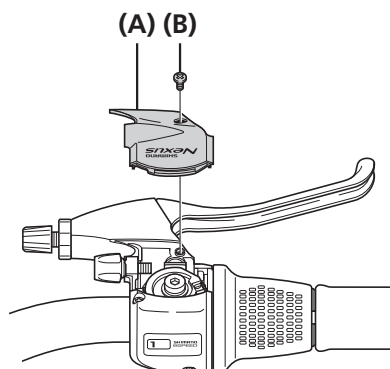
SB-8S20-Aの場合

1. レボシフトシフターを1にセットします。



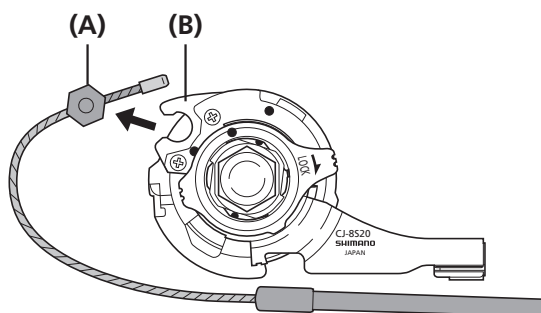
★1 1にセット

2. カバー取付けねじを緩め、カバーを取外します。



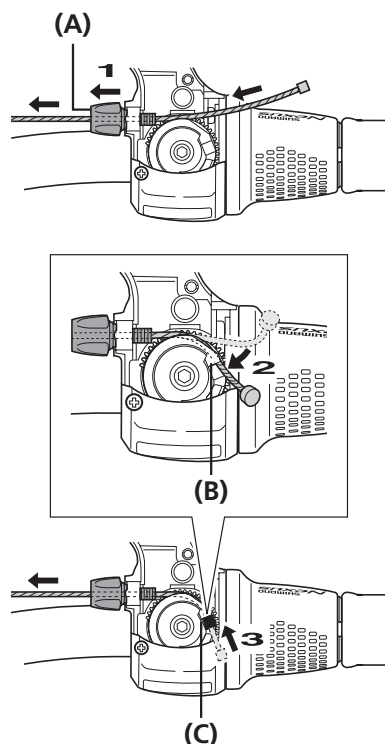
(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



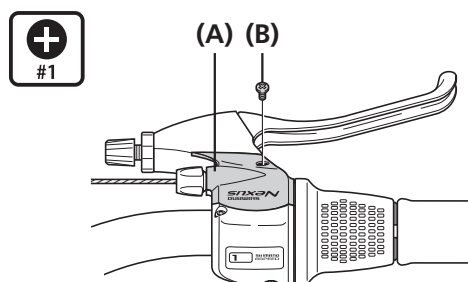
(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルをケーブル調整ボルトの穴に通します。次に、インナーケーブルをプーリーの溝に引掛け、インナーケーブルを引っ張り、インナーケーブルのタイコをプーリーの凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) プーリーの溝
(C) プーリーの凹部

5. カバーをカバー取付けねじで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

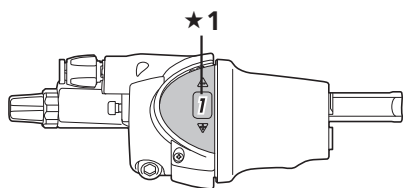
締付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.2 - 0.4 N·m

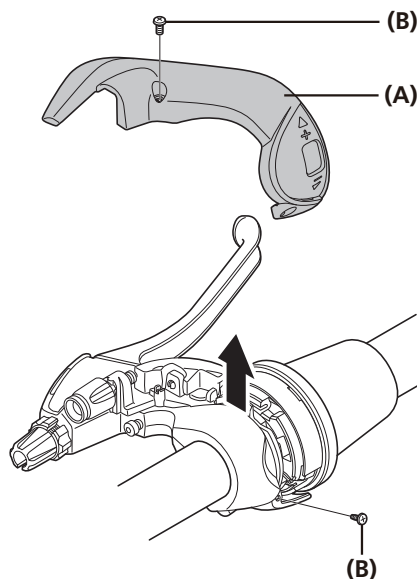
SB-C3000-7の場合

1. レボシフトシフターを1にセットします。



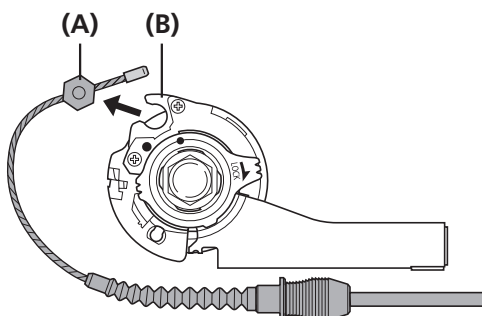
★1 1にセット

2. カバー取付けねじを緩め、カバーを取外します。



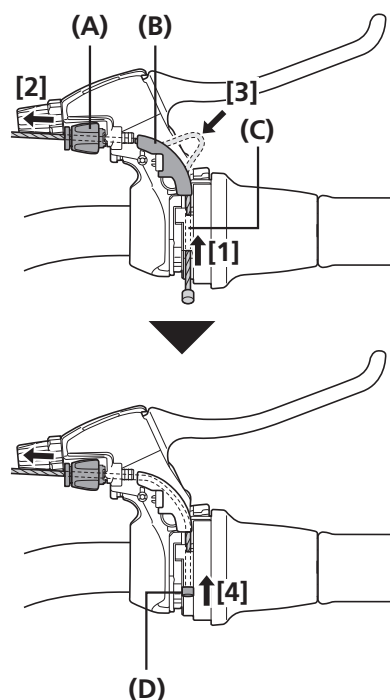
(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー固定ボルトユニットを取外します。



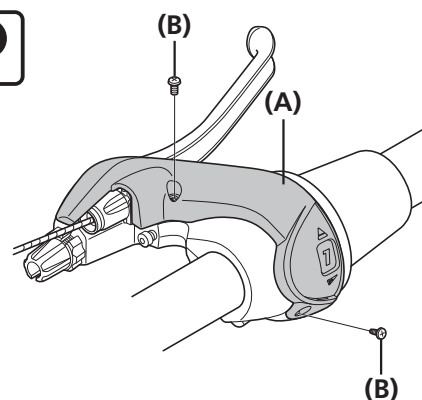
(A) インナー固定ボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

4. インナーケーブルを巻取り体の穴から、ケーブル調整ボルトの穴に通します。その後、インナーケーブルをケーブルガイドの溝に沿わせます。次にインナーケーブルを引っ張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) ケーブルガイドの溝
(C) 巻取り体の穴
(D) 巻取り体の凹

5. カバーをカバー取付けねじで固定します。



(A) カバー
(B) カバー取付けねじ

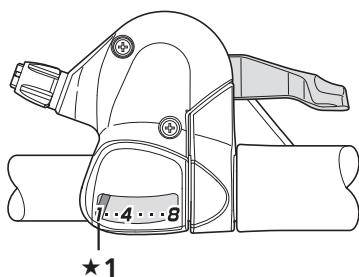
締め付けトルク

プラスドライバー[#1]

0.1 - 0.2 N·m

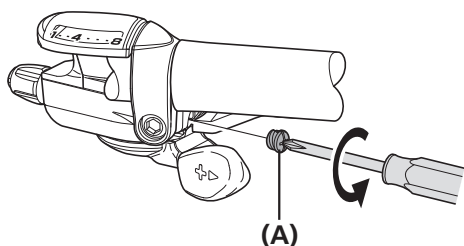
■ラピッドファイヤープラスシフター

1. シフターを1にセットします。



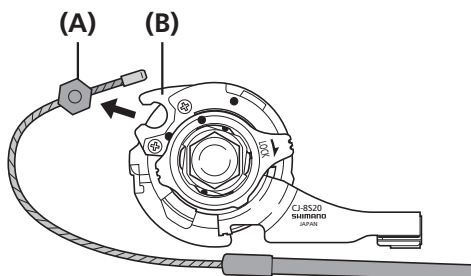
★1 1にセット

2. インナータイコ穴キャップを緩め取外します。



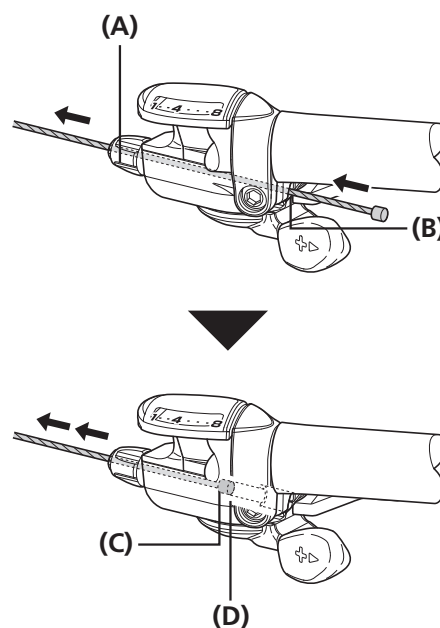
(A) インナータイコ穴キャップ

3. カセットジョイントのプーリーから、インナー取付けボルトユニットを取外します。



(A) インナー取付けボルトユニット
(B) カセットジョイントのプーリー

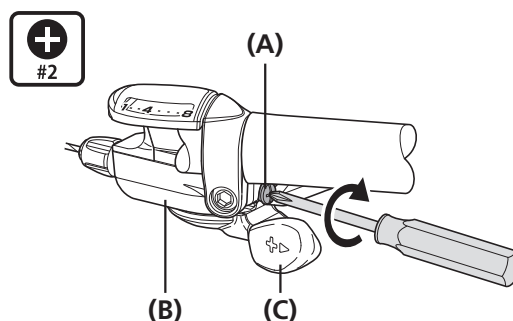
4. インナーケーブルを巻取り体の溝に入れ、ケーブル調整ボルトの穴に通します。次にインナーケーブルを引っ張り、インナーケーブルのタイコを巻取り体の凹部に入れます。



(A) ケーブル調整ボルトの穴
(B) 巻取り体の溝
(C) インナーケーブルのタイコ
(D) 巻取り体の凹部

5. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して取付けます。これ以上回すと、カバーのねじ溝を破損します。

また、ユニットカバーの変形により、ユニットカバーとレバーAが干渉し、レバーAの動作不良をおこすおそれがあります。レバーAの戻りが悪い場合は、インナータイコ穴キャップを少し緩め、レバーAとユニットカバーの間にすき間をつくり、戻りが良くなることを確認してください。



(A) インナータイコ穴キャップ
(B) ユニットカバー
(C) レバーA

締付けトルク

プラスドライバー[#2]

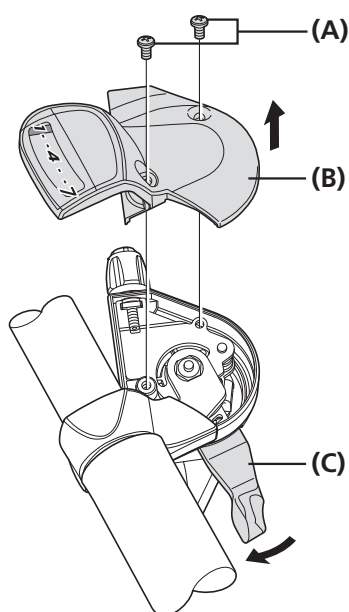
0.3 - 0.5 N・m

インジケーターユニットの交換と組立

■ 取外し

分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時だけおこなってください。

1. レバーBを操作して1にセットします。
2. インジケーターユニットを固定しているカバー取付けボルト (2本) を緩め取外します。
3. インジケーターユニットを図のように取外します。

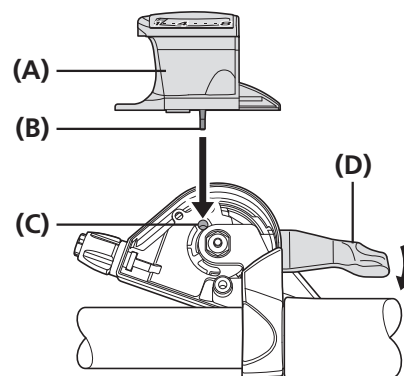


- (A) カバー取付けボルト
(B) インジケーターユニット
(C) レバーB

■ 取付け

分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時だけおこなってください。

1. インジケーターの指針が左側 (1の位置) にあることを確認して、インジケーターユニットを真上から取付けます。このとき、インジケーターユニットの下部から出ているピン板の軸を巻取り体の穴 (1の位置) に入れます。



- (A) インジケーターユニット
(B) ピン板の軸
(C) 巻取り体の穴 (1の位置)
(D) レバーB

2. インジケーターユニットをカバー取付けボルト (2本) で固定します。

締付けトルク

プラスドライバー [#2]

0.3 - 0.5 N·m

3. レバーAとレバーBを操作し、動作の確認をしてください。もし正しく動作しない場合は、上記の **1** に注意して再度取付けてください。

使用上の注意

インジケーターユニットおよびシフターユニットの分解はしないでください。故障の原因になります。

内部一式ユニットのオイルメンテナンス

製品の性能を維持するために、使用開始から1年ごと（頻繁に乗車する場合は2,000 kmごと）を目安に、オイルメンテナンスを推奨します。厳しい使用条件下で乗車する場合は、より頻繁なメンテナンスが必要になります。また、メンテナンスの場合は、シマノ内装ハブ専用グリスまたはオイルキットを推奨します。専用グリスまたはオイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しないなどのトラブルの原因となる可能性があります。



(A)

(A) WBメンテナンスオイルセット (Y00298010)

1. メンテナンスオイルを容器に95 mmの高さまで入れます。



★1 95 mm

2. 図のように内部ユニットを左側からリングギアユニット1までオイルに浸します。



★1 リングギアユニット1

3. 約90秒間、内部ユニットをオイルに浸します。



4. 内部ユニットを取出します。



5. 約60秒間、余分なオイルをきります。



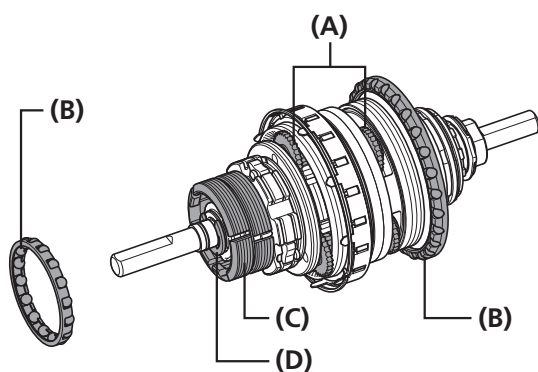
TECH TIPS

<メンテナンスオイルについて>

- メンテナンスオイルは繰り返し使用可能です。減った分を継ぎ足してご使用ください。
- 使用後はふたを閉めて保管してください。

使用上の注意

オイルメンテナンス後は、ボールリテーナー、スナップリング、ブレーキシューおよびピニオンギアへのグリス(Y04130100)塗布を推奨します。



- (A) ピニオンギア
- (B) ボールリテーナー
- (C) ブレーキシュー
- (D) スナップリング

イラストは一例です。

6. ハブを組立てます。

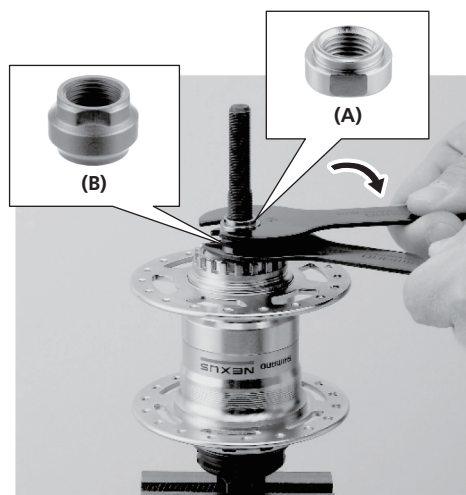
- (1) ハブシェルがスムーズに回転し、かつハブ軸にガタがないように左玉押し(コースターブレーキ仕様の場合はストップナット)で調整します。
ストップナットは突起がない面を上にしてください。

- (2) 左ロックナットを締付けます。

左ロックナットの締付けトルクは仕様によって異なります。

- ディスクブレーキ仕様、ローラーブレーキ仕様、Vブレーキ仕様：24.5 ～ 29.4 N・m
- コースターブレーキ仕様、コースターブレーキ(ディスクブレーキ付き)仕様：17.7 ～ 24.5 N・m

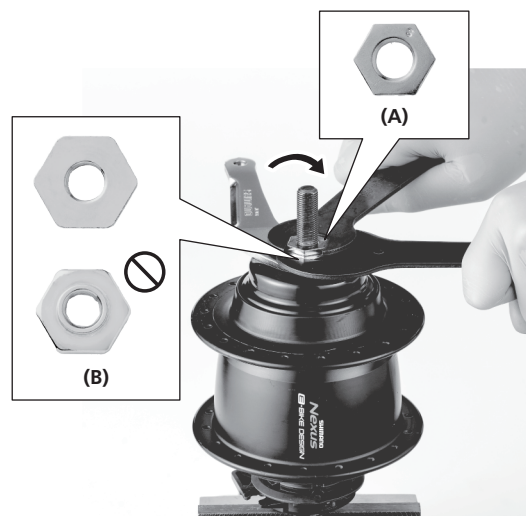
ローラーブレーキ仕様の場合



画像は一例です。

- (A) 左ロックナット
- (B) 左玉押し

コースターブレーキ仕様の場合



画像は一例です。

- (A) 左ロックナット
- (B) ストップナット



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地